

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(研修事業関係)

1 新型コロナウイルスによる感染症の5類移行に伴い、前年度よりも参加人数を一定数増やし、全国篤志面接委員大会（中央研修会）を開催した。

また、従来のパネルディスカッションに替えて、あらかじめサブテーマに関する参加者全員の意見を提出していただき、その意見要旨集を「大会要綱」に掲載し、これを参考としながら自由な意見交換を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
中 央	令和5年10月12日（木） 法務省地下大会議室 参加者139名 （委員110名、関係者29名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「第二次再犯防止推進計画と矯正の現状」 法務省大臣官房審議官 小山 定明 氏 ・ 大会テーマ「時代に応じた篤志面接活動の意義と役割の発見！！」 ・ 研究発表者 4名 ・ 意見交換 大会サブテーマ「これからの社会とのつながりを求めて」 進行 連盟 阿部理事 参加者 発表者4名 フロア参加者全員

2 全ての管区協議会において、以下のとおり研修会を開催した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
札 幌	令和5年7月13日（木）・14日（金） 旭川市 アートホテル旭川 参加者93名 （委員45名、関係者48名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「柔道を通じた人材育成について」 柔道指導者 上野和香子 氏 柔道指導者 上野 巴恵 氏 ・ 研究発表 3名 ・ 研究討議
仙 台	令和5年7月13日（木） 福島市 ホテル福島グリーンパレス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別講演「刑務所内の高齢者や障がい者の支援」 元衆議院議員・作家

	参加者 80名 (委員 45名、関係者35名)	山本 譲司 氏 ・研究討議「篤志面接委員の意義と役割」 分科会方式
東 京	令和5年11月28日(火) さいたま市 さいたま新都心 合同庁舎2号館 参加者147名 (委員83名、関係者64名)	・講演「矯正の現状と篤志面接委員の先生方に期待すること」 東京矯正管区長 松村 憲一 氏 ・自由討論会 10班に分かれ、それぞれ「被収容者の抱える問題」、「家庭内DV、子供への虐待」、「篤志面接活動を通じて得られたもの」などのテーマに基づき、自由討議。
名古屋	令和5年11月21日(火) 津市 プラザ洞津 参加者86名 (委員45名、関係者41名)	・記念講演「刑事施設における面接—どのような機会にするのか?」 千葉大学社会精神保健教育研究センター 特任講師 東本 愛香 氏 ・パネルディスカッション 議題「時代に応じた篤志面接活動の意義と役割の再発見」 総合司会・パネラー 篤志面接委員5名 コーディネーター 国職員
大 阪	令和5年9月19日(火) 大阪市 ホテルプリムローズ大 阪 参加者155名 (委員85名、関係者70名)	・講演「一般財団法人かがやきホームの取り組みについて」 一般財団法人かがやきホーム 相談員 岡西 正克 氏 ・体験発表 司会・発表者 篤志面接委員4名
広 島	令和5年10月25日(水) 山口市 ホテルニュータナカ 参加者97名 (委員46名、関係者51名)	・講演「社会福祉法人E.G.Fの触法障害者への取組」 社会福祉法人E.G.F 総合施設長 渡邊 宥照 氏 ・研究発表 2名

高 松	令和5年11月22日（水） 丸亀市 オークラホテル丸亀 参加者54名 （委員27名、関係者27名）	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「自分と未来は変えられる～再非行を減らし、笑顔を増やしたい～」 NPO法人再非行防止サポートセンター 愛知 理事長 高坂 朝人 氏 ・研究発表 3名
福 岡	令和5年11月15日（水）・ 16日（木） 熊本市 KKRホテル熊本 参加者135名 （委員67名、関係者68名）	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「被害者等の心情等の聴取・伝達制度の施行に伴い、篤志面接委員に期待すること」 くまもと被害者支援センター 理事長 高木 絹子 氏 ・研究討議 第1部 共通テーマ「時代に応じた篤志面接活動の意義と役割の再発見」 第2部 選択テーマ 分科会方式で7班に分かれて実施

3 初任者研修に併せて経験年数15年以上のベテラン委員に対するリフレッシュ研修（中央研修会）を初めて開催した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
中 央	令和5年12月5日（火）・6日（水） 法務省地下大会議室 参加者70名 （委員61名、関係者9名）	<p>一日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話Ⅰ「矯正行政と篤志面接活動の意義」～刑事施設を中心に～ 矯正局成人矯正課企画官 佐伯 温 氏 ・講話Ⅱ「矯正行政と篤志面接活動の意義」～少年院を中心に～ 矯正局少年矯正課企画官 藤原 尚子 氏 ・講話Ⅲ「篤志面接活動の歴史、制度と現在の課題」 全国篤志面接委員連盟 理事長 室井 誠一 ・班別討議Ⅰ 8班 ・講話Ⅳ「面接指導技術」 東京未来大学こども心理学部長 出口 保行 氏 <p>二日目</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・講話Ⅴ「篤志面接活動を体験して」 全国篤志面接委員連盟常任理事 東松 磐樹 全国篤志面接委員連盟常任理事 岩見屋 健 ・班別討議Ⅱ 初任者 8 班と経験者 1 班に分けて実施
--	--	---

4 全ての矯正管区管内において、以下のとおり篤志面接委員教養訓練を実施した。

地 区	日時・場所・参加人員	研修内容
札 幌	令和5年11月15日(水) 函館市 プレミアホテル CABINPRESIDENT 函館 参加者29名 (委員21名、関係者8名)	「面接でわかること、データで見えること」 千葉大学社会精神保健教育研究センター 特任講師 東本 愛香 氏
仙 台	令和5年11月10日(金) ホテルキャッスル山形 参加者34名 (委員29名、関係者5名)	「犯罪や非行をした人たちの更生とは～立ち直りを支えるしくみ～」 山形保護観察所長 千葉 貴史 氏
東 京	令和6年2月26日(月) さいたま新都心合同庁舎2号館 5階 共用大研修室 参加者61名 (委員54名、関係者7名)	「警察にまつわる5つの謎」 第88代警視總監 池田 克彦 氏
名古屋	令和5年9月1日(金) 名古屋合同庁舎第3号館7階会議室 参加者47名 (委員36名、関係者11名)	「『雇用』という立ち直り支援」 (株)コウエイ物流(協力雇用主) 代表取締役 村上 結美 氏
大 阪	令和6年1月30日(火) ホテルプリムローズ大阪 参加者73名 (委員67名、関係者6名)	「日本アルプス大縦断～挑戦すること～」 大阪拘置所処遇部処遇部門 主任看守 野寄 真史 氏
広 島	令和6年2月7日(水) 広島合同庁舎4号館2階 共用会議室	「犯罪被害者支援制度の経緯と今後の展望」 琉球大学法科大学院教授

	参加者44名 (委員39名、関係者5名)	齋藤 実 氏 「篤面活動状況の共有」 (グループ討議)
高 松	令和6年2月22日(木) 四国地方更生保護委員会会議室 参加者19名 (委員16名、関係者3名)	「坂村真民の生き方とそこから生まれた詩」 坂村真民記念館 館長 西澤 孝一 氏
福 岡	令和6年2月2日(金) 矯正研修所福岡支所第1教室 参加者51名 (委員28名、関係者23名)	「矯正改革の流れと今後の展望」 ～矯正の歴史と今後の展望としての「社会化」「更生支援」について～ 福山大学人間文化学部教授・龍谷大学法学部客員教授(元札幌矯正管区長) 中島 学 氏

(表彰事業関係)

- 1 従来通り、篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員20名に対して会長表彰を実施した。
- 2 篤志面接活動に功績のあった篤志面接委員25名に対する法務大臣感謝状の授与に際して祝意を表した。

(慶弔事業関係)

篤志面接委員の慶弔に際して、表敬・慰謝を行った。

(広報・機関誌事業関係)

- 1 ホームページを更新し、内容の充実と広報活動の充実を図った。
- 2 機関誌「全篤連だより」を令和5年7月、同6年2月に発行した。
- 3 研修大会、協議会の記録誌の出版：全国篤志面接委員大会、各管区管内篤志面接委員協議会による研修会及び初任者研修・リフレッシュ研修会の実施に際し記録誌を発行した。
- 4 全国矯正展において専用のブースを設け、篤志面接活動に関する広報と説明を行った。
- 5 在庫が少なくなった「篤志面接委員手帳」について、内容の改訂を行った上で、増刷した。

(事務局関係)

- 1 事業運営目標達成に向け、その基礎となる次の点に留意した。
 - (1) 引き続き、税理士と契約し財務の指導を受けるとともに、監事による10月までの上半期の中間監査を実施するなど、財務状況の把握を確実にした。

(2) ホームページを適宜更新し、連盟からの広報活動の積極化に努めた。

2 予算執行について

(1) 公益目的事業会計について、J K Aからの補助金が前年度とほぼ同額を内示されたところから、あらかじめ地方研修大会の開催及びその準備に必要な経費を調査した上で予算配布し、効率的・効果的な執行に努めた。

(2) 法人会計については、予算の経費節約に努めた。

(その他の事業関係)

特になし